

広報部会会員による 就業現場レポート(第11回)



趣味と実益を兼ねた職人仕事

「植木剪定、除草」

剪定(せんてい)とは？

余分な枝や葉を切り落として樹形を整えることをいいます。木の見た目が良くなる上に、害虫発生を抑制したり、木の成長を促すことにもなります。



シルバー人材センターへの入会のきっかけは？

65歳を機に、今までの仕事に終止符を打ち、センターに入会しました。以前から緑化推進や園芸教室などで知識が多少ありましたので、今度は実践的な体験もしたくて、この仕事を選びました。

長野県茅野市出身です。地元のセンターにも植木の仕事があり、自宅の庭の剪定を依頼していました。平成28年に東京へ転居した折、江東区のセンターに入会しました。以前から植木の剪定には関心を持っていたので、この仕事に加わりました。



作業の様子

グループメンバーとコミュニケーションについて

70代と80代の方が中心で、最近60代の女性1名が加わりました。まず、朝の打合せをしてから現場でのポジションを決め、作業に入ります。最後に刈り取った草や切り落した木片などを片付けます。最近では、作業機械が大変良くなり、作業がとても楽になって来ました。作業を効率的にする為のポジショニングをして、仲良く助け合うことを基本としています。連絡はスピーディーなLINEやメールを使用しています。



グループの皆さん

作業現場で気を付けていることは？

安全です。中でも、特に梯子や脚立をしっかり縛ることです。乗った梯子や脚立が回転して落下しないよう、木の枝などに縛って固定することが重要です。また、集合住宅では、早朝は音の出るエンジン付きの機器(草刈機)などの使用は避け、音の出ない作業から始めます。夏場の熱中症対策も重要です。36度以上ある時の作業は、とにかく暑いので水分補給を頻繁にしています。

夏場は木の成長時期なので、ダメージを与えない程度に剪定することが大切です。この時期に沢山の葉を落とすと、紫外線が幹に直接当たり、ダメージを与えてしまいます。光合成が出来ず、枯らす原因にもなります。

仕事のやりがいについて

最初は鬱蒼としたジャングルのような庭が綺麗に除草したことで、施主様から「すっかり綺麗になって」と感謝された時が、この仕事の最も充実感を与えてくれる瞬間です。

剪定が終わった後に腰かけて青空を見上げた時、何とも言えない気持ち良さと満足感を感じます。

最後に、この仕事に興味を持たれた方へのメッセージ

この仕事は足腰が大切ですが、定年はなく、経験もほとんど要りません。植物が好きな方や、山登りやハイキングが好きな方に向いています。庭木の手入れ、野山の散策、写真撮影など、草木に興味を持たれた方に「植木剪定」は、趣味と実益を兼ねた楽しい仕事になると思います。上部団体の講習などもありますので、是非ご参加下さい。

お二人のお話からは、庭木や植物に対する愛情をとても強く感じました。夏場の剪定の注意点や木に対する思いやりなど、私たちが知らない事ばかりでした。会員さんによって剪定された木は、一つのモニュメント(作品)として多くの皆さんの目を楽しませ、リフレッシュさせていると思います。